



営農ウィークリーNEWS

夏の京野菜・ブランド産品フェア

イオンモール京都桂川にて



7月13日、公益社団法人 京のふるさと産品協会主催による夏の京野菜・ブランド産品フェアが、イオンモール京都桂川にて行われました。

新たな夏季の特産品として、当JAの「京おくら」もフェア内で特設コーナーに陳列され、ブランド産品とともにPR販売が行われました。3連休の初日となった13日は、朝から多くの来



店客で特設コーナーは賑わいました。

また、同コーナーでは、マネキンさんによる「万願寺とうがらしの塩昆布炒め」の試食が行われ、人気を集めました。

今回、コーナーでは、「京おくら」型のエアPOPも設置され、フェアを盛り上げました。

当JAの夏季特産品の「京都茄子」「京おくら」については、7月20日に京都パルスプラザで開催される「2024JA 京都中央ふれあい感謝祭」などでも試食宣伝活動を行う予定です。

是非、ご来場ください。



—TAC information—

夏季の特産品「京おくら」をPR



7月1日、経済部営農販売課では、初となる試みとして、夏季特産品「京おくら」のPR広告を京都市バス車両に始めました。12月末まで掲示されます。また、期間限定ではありましたが、7月4日～7日までは、市営地下鉄東西線の車両内にも広告を掲示しました。



シーズン到来。水稻・イネカメムシ発生に注意！



イネカメムシ成虫

「イネカメムシ」は、本州、四国、九州、南西諸島など分布するイネ科植物の害虫として知られています。体長は12～13mmで、4月頃から越冬地で活動を開始し、水稻の出穂前から本田に侵入することもあります。早生品種では走り穂が出ると本田への侵入が始まり、吸汁加害します。「イネカメムシ」は、**斑点米**を発生させるだけでなく、**出穂期に籾の基部や茎の加害により不稔を生じさせ減収となる恐れがある**ことが知られています。

本年は、既に、斑点米カメムシ類については、6月25日熊本県、7月1日富山県、7月2日山形県が注意報を発表。7月3日三重県においては、斑点米カメムシ類とイネカメムシ・クモヘリカメムシ、7月3日愛知県イネカメムシについて注意報を発表しています。当JA管内でも全域に発生していることが確認されており、特にこれからの時期の早生品種において出穂前に侵入してきますので、ほ場をこまめに見て回るなど注意してください。晩生品種では、8月中旬頃からほ場に侵入してきます。

水稻・いもち病の発生に注意！

京都府病虫害防除所の病虫害発生予報では、葉いもち⇒【多】と発表され、巡回調査では、葉いもちの発生は平年比多い発生となっております。本年は、梅雨入りは遅かったものの、昨年に引き続き、梅雨らしい天候で、もうしばらくで開けるような気配ですが、「いもち病」の感染好適日が断続的に出現しています。**山間部の水田では特に注意してください。**ほ場の状況を確認し、葉いもちの病斑を確認した場合は穂いもちへの伝染現となりますので、治療効果のある薬剤（**商品名：ブラシン剤**）で防除を行ってください。※現在における皆さんの栽培ほ場の状況をご確認ください。



葉いもち・激発ほ場

治療効果のある薬剤（商品名：ブラシン剤）で防除を行ってください。※現在における皆さんの栽培ほ場の状況をご確認ください。